

平成30年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和元年度第1回情報発信部会

令和元年6月20日

重点的に取り組む主な項目

経営課題		戦略	具体的取組 【平成30年度】
2	にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり	(1) まちのにぎわい創出と活性化	①西成区魅力発信事業
		(2) 地域活動の支援強化	①地域コミュニティ支援事業
			②緑化推進事業
		(4) 人権尊重のまちづくり	①人権尊重のまちづくり
3	防災・防犯・安全対策	(1) コミュニティ防災力の強化	①地域防災活動事業 －地区防災計画作成－
			②地域防災活動事業 －地域防災の担い手の発掘・育成－
		(2) 防犯・安全対策の推進	①防犯対策事業
②自転車等安全利用啓発事業			
		(3) 空家等対策の推進	①空家等対策推進事業

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
具体的取組2-1-1 西成区魅力発信事業

29予算額	2,411千円	30予算額	1,271千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
区民アンケート等で、西成区の観光スポットや歴史的名所を知っていると答えた区民の割合	50%以上	61.6%

達成

取組実績

- ・まちあるきツアーを計8回実施し、子育て世代の参加者は25名、延べ161名に参加いただき、観光資源のPRを行った。
- ・観光ガイド養成講座5回 32名
- ・熊野街道歴史ウォーク2回 100名
- ・西成情報アーカイブ事業1回29名



第1回観光ガイド養成講座



第3回観光ガイド養成講座

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-2-1 地域コミュニティ支援事業

29予算額

67,048千円

30予算額

64,515千円

目標	目標値	H30結果
本市の実施するアンケートにより、まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合	87%以上	73%

未達成

取組実績

・地域一丸となって、様々な事業や行事等に取り組めるよう、中間支援組織を活用しながら地域活動協議会の支援を行った。

課題と改善策

・各地域活動協議会の自律性を伸ばしていくといった観点も踏まえ、地域カルテをより活用しながら、地域における個別の目標(地域別目標)を見据えて取組みを進める。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
具体的取組2-2-2 緑化推進事業

29予算額	2,048千円	30予算額	1,674千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域での地域活動(地域で行われる催し物、事業等)に関心がある」と答えた区民の割合	30%以上	38%

達成

取組実績

- ・種から育てる地域の花づくり事業の実施
年2回地域へ出荷(年間約50,000株)
- ・ボランティアの意見交換会の設定 年10回
- ・ボランティア募集チラシの配布(区内イベント実施時) 年2回
- ・花の講習会の実施 年7回



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり

29予算額	2,000千円	30予算額	2,000千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上	人権を考える区民のつどい:89.8% 人権講座:93.6%

達成

取組実績

- 人権を考える区民のつどい(2回)
- 人権講座(3回)
 - ・「じぶんごと」としてのじんけん
 - ・子どもとのかかわり
 - ・多文化共生のための異文化コミュニケーション講座



人権講座
 「多文化共生のための異文化コミュニケーション講座」

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

◇まちのにぎわい創出と活性化

西成区を訪れる外国人等の観光客は増加しているが、すべての観光客が、区内を周遊する状況には至っていない。今後はさらに、地域資源や区内の歴史・文化を活かした取組の充実をはかり、空き店舗の活用方法を検討するなど、地域の活性化につなげる必要がある。

◇地域活動の支援強化

地域活動協議会の自律的な運営に向けて、中間支援組織を活用して支援を続けてきた結果、組織運営や会計処理などの基礎的な分野では全ての地域が自主的に行えるようになるなど、成果をあげている。また、地域課題に応じた活動の実施についても、客観的データ「地域カルテ」を活用した事業計画が立案されるなど、これまでにない取組みが出てきている。現在の取組みを継続しつつ、担い手の発掘・人材の確保といった分野でも好事例を創出するための効果的な手法を構築し、取組みや連携・協働の技術・手法(ノウハウ)の継承(世代間継承)も視野に入れて支援を進めて行く。

◇人権尊重のまちづくり

人権に対する意識については、人権啓発推進の取組みを継続的に実施することで変わってきているが、区民一人ひとりの人権意識が向上していると実感できるまでには至っていない。引き続き、多様な機会を通じて区民に対して広く人権啓発推進の取組みを進めていく必要がある。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-1 地域防災活動事業

—地区防災計画の作成—

29予算額	5,130千円	30予算額	4,860千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合	50%以上	97%

達成

取組実績

地区防災計画の作成: 2地域
(萩之茶屋・松之宮)



経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-1-2 地域防災活動事業

—地域防災の担い手の発掘・育成—

29予算額	3-1-1に含む	30予算額	3-1-1に含む
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	H30結果
講習会受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わってほしい」と答える割合	70%以上	97%

達成

取組実績

- ・地域防災リーダー、防災協力事業所合同での「防災アドバンス講習会」の開催(2回)
地域防災リーダー:16地域
防災協力事業所:21事業所
合計72名参加
- ・区内全中学校にて可搬式ポンプの使用方法について講習(6校)



経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-1 防犯対策事業

29予算額	2,456千円	30予算額	2,549千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
平成30年の街頭における犯罪発生件数を減少させる	前年より減少させる	H30年 950件 (H29年 860件) +10.5%

取組実績

未達成



青色防犯パトロールカー及び
自転車による巡回

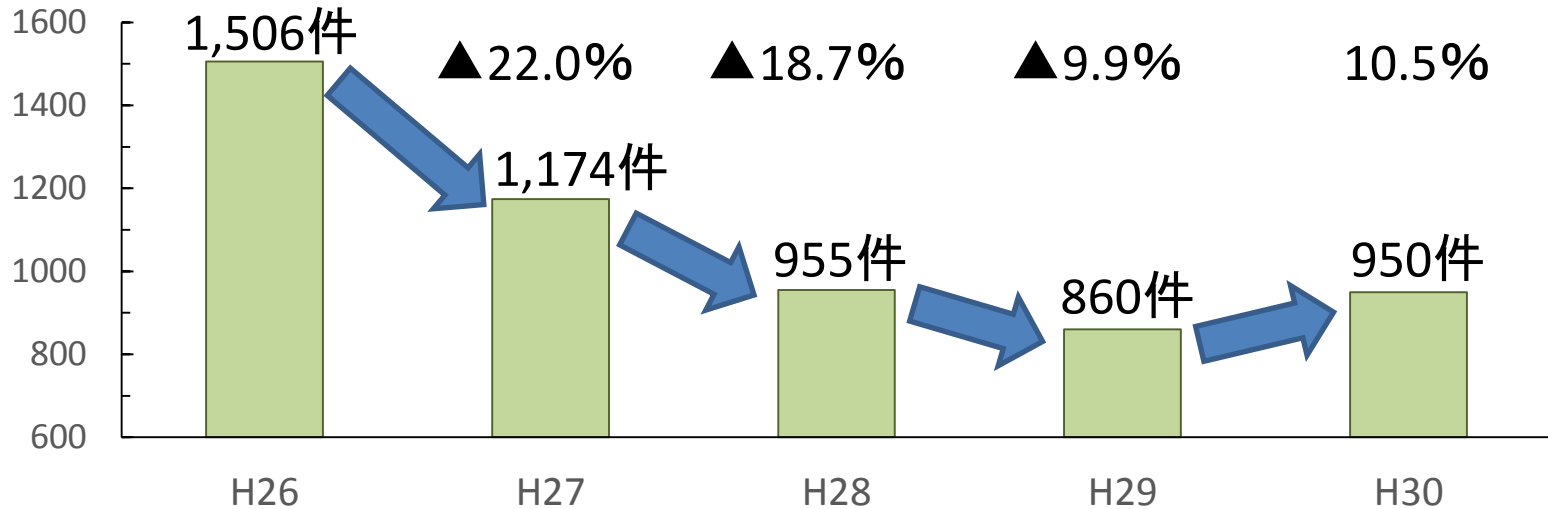


防犯啓発キャンペーンの実施
(ひったくり防止カバー取付25箇所2,550枚)



防犯交通安全教室の実施
(小学校11回、保育園等4回)

区内の街頭における犯罪発生件数



課題と改善策

西成区が「安心安全なまち」と感じる区民の割合は増加しており、街頭における犯罪の発生件数のうち、ひったくり被害は14件(H29年24件▲41.7%)、路上強盗は5件(H29年9件▲44.4%)と減少している。一方で特に自転車盗などの犯罪発生件数が一時的に増加したため、H30年の街頭における犯罪発生件数全体では10.5%の増加となっている。しかし、これまで取り組んできた「ひったくり防止カバーキャンペーン」「青色パトロールカーや自転車による巡回」などの防犯啓発活動に取り組んできたことによりH26年(1506件)からH29年(860件)の4年間で犯罪発生件数が▲42.9%減少と実績をつくってきた。こうした活動は犯罪発生件数を抑制させることに有効であると考え、継続した活動を取組むことにより長期的に発生件数を減少させることが必要である。

警察とより連携した防犯対策を推進するため、「西成区安全・安心なまちづくりに関する協定」を所轄警察と締結し、警察、区役所が一体となって、地域の安全・安心の取り組みをより一層進める体制を構築する。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-2-2 自転車等安全利用啓発事業

29予算額

4,852千円

30予算額

4,688千円

目標

目標値

H30結果

交通ルールやマナーの意識が高まったと回答した区民の割合

70%以上

71.9%

達成

取組実績



交通安全区民大会
(4・9月)



めいわく駐車・駐輪追放キャンペーン
(6・11・12・3月)



放置自転車合同啓発活動

経営課題3 防災・防犯・安全対策

具体的取組3-3-1 空家等対策推進事業

29予算額

307千円

30予算額

291千円

目標	目標値	H30結果
特定空家等の解体や補修等による是正件数	5件以上	15件

達成

取組実績

- ・特定空家等の所有者調査及び是正に向けた助言、指導を実施
- ・広報紙(10月号)及びホームページで空家の適切な維持管理等に関する啓発を実施
- ・空家の管理、活用に関するセミナーの開催(11月)



是正前



是正後

経営課題3 防災・防犯・安全対策

自己評価のまとめ (1)

◇コミュニティ防災力の強化

地域防災の新たな担い手の発掘にむけ地域防災リーダーと防災協力事業所合同での講習会を実施し人材育成に加えて、地域と事業所の連携強化の取組みも進めることができたと考える。また、中学生への消火活動の講習を実施や西成高校との連携など中高生に対する取組みも行うことが出来た。

地区防災計画の策定については、2地域において策定することができた。引き続き、防災意識・地域防災力のさらなる向上を図っていく必要がある。

◇防犯・安全対策の推進

街頭犯罪件数を減少させるためには、区民一人ひとりの防犯意識を高めることが重要であり、啓発活動を行うことで区民の防犯意識の向上に取り組んだ。

街頭犯罪発生件数については、H26年の1,506件から減少しつつあったものの、H30年には960件と前年比では90件(+10.5%)増加することとなった。自転車盗、車上狙い等の車関連犯罪が増加しており、所轄警察と連携した取組を今後進めていくこととする。

交通ルールの順守とマナーアップについては、放置自転車の啓発活動をはじめ、交通安全教室や交通安全区民大会での啓発活動に取り組み、区民モニターアンケート等において交通ルールやマナーの意識の向上が高まっていることが確認できた。しかし、区民全体としての意識はまだ醸成途上であることから、区民に見えるような啓発活動等を継続的に実施していくことが必要である。

経営課題3 防災・防犯・安全対策

自己評価のまとめ (2)

◇空家等対策の推進

喫緊の課題となっている特定空家の是正に向けて、所有者調査及び、判明した所有者等に対する助言・指導を進め、目標を上回る件数の是正を行うことができ、周辺の特定空家等に不安などを感じている市民の割合も順調に減少している。引き続き、特定空家の是正を図るとともに、特定空家等の未然防止の取組みを進める必要がある。